

「ベストプラクティス企業」に職場訪問を行いました

11月の過重労働解消キャンペーンの取組の一環として、長時間労働削減などの働き方改革に向けた取組を積極的に行っている企業を「ベストプラクティス企業」として選定し、その企業の取組事例を広く紹介する目的で、熊本労働局長によるベストプラクティス企業職場訪問を実施しました。（令和7年11月20日）

今年度のベストプラクティス企業には、サントリー（株）九州熊本工場（上益城郡嘉島町）が選ばれました。サントリー（株）九州熊本工場では、多能化の推進・先端技術の活用等により、業務の見直し・効率化を行い、創出された時間で新たな取組への積極的なチャレンジが行われています。また、個々のライフスタイルにあった働き方を進めており、より働きやすい職場環境の改善が行われています。

当日は、熊本労働局長金谷雅也が工場を視察、様々な取組事例を収集しました。



取組を説明するサントリー（株）九州熊本工場のご担当者様（右端）



職場訪問を行った金谷局長（左端）